

議会だより 令和6年度予算議会は2月20日から3月25日にかけて行われました。

令和6年度は一般会計6278億8300万円
 特別会計4221億9000万円
 企業会計2836億5800万円
 計 1兆3337億3100万円
 過去2番目の予算規模となりました。



(一般質疑)

今議会は、旧門司駅遺構の一部移築についての予算で異例の修正案が可決されたり、公園などの除草予算の大幅削減に対してまちの美化や地域の安全安心などに影響することから増額を求める動議が出され可決、またこれまで小学生で行われていた議会や小倉城などをめぐる平和のまちミュージアムツアーや美術鑑賞ミュージアムツアーが費用対効果の観点から中止されたことについて多くの反対の声がでるなど波乱の議会となりました。



質問の詳細については事務所までお尋ねいただくか、次のQRコードからご覧下さい。

令和6年2月定例会 一般質疑

◆ 私は一般質問に立ち子育て支援を中心に以下の内容で質問しました。

1 北九州市PCB処理事業

- ・23年間に及ぶ処理事業がもたらした功績
- ・処理施設を安全確実に解体するためのスケジュールと跡地利用について

2 子育て子育て支援

①不適切な養育（マルトリートメント）について

テレビやネットでもひどい子どもの虐待のニュースがあとを絶ちません。その対策に取り組むことはもちろんですが、親が虐待と思わず日常的にやっていることでも、その不適切なかわりが子どもの脳を傷つけたり変形させ、愛着障害や学習意欲の低下や非行、うつや統合失調症他の病を引き起こすことがあることが明らかになっています。

福井大学の子どもこのころの発達研究センター教授の友田明美先生は、著書の中で例えば子ども時代に過度な体罰を長期間経験すると脳の前頭前野が委縮、感情や思考行動に関わる領

域でこの部位が委縮すると本能的な欲求や衝動が抑制されにくくなるや、性的虐待を継続的に受けると脳の後頭葉に位置する視覚野の容積が減少し、視覚野の容積が小さい人ほど記憶力が低くなる。更には親同士の争いを目撃したことによる脳の変化で直接子どもを傷つける行為でなくても、暴力が存在する家庭で育った人たちは視覚野が委縮、その部分の血流が増加して過敏過活動になったり、更には激しく怒鳴る、威嚇するなど暴言による不適切な養育を受けると聴覚野が肥大し、人の話を聴きとったり会話したりする際、脳に余計な負担がかかり、心因性難聴になって情緒不安定になったり人と関わること自体を恐れるようになる場合もあつたりするようです。

保護者自身に大きな課題がある場合はそのケアも大変重要です。子育て支援で今後は子どもたちへのさまざまな不適切な養育からくる病気や問題行動などの予防という観点からさらに必要ではないか見解を尋ねました。

②発達障害を疑われる子どもたちの急増について

発達障害を疑われる子どもの数が急増し、全国的にこの13年で約10倍ともいわれています。気になる子どもさんが療育センターを受信するのに、現在は約半年待ちということで、本来は医師の確保が急務ですが、全国的にも児童精神科医の不足が課題になっている状況の中、少しでも解消するために心理士を増員する予算が計上されどのように取り組みをされるのか尋ねました。

また待ちの状況が長くなることは結果的に不適切な療育にもつながる可能性もあり、発達障害の二次障害をおこす可能性もあります。また不適切な療育が原因で発達障害を疑われる症状が出ていることもあるようです。

療育センターでの受診を待つ間に、子どもにとって大切なことやその保護者の状況を確認し事前に取り組めることや大切なことをしっかり伝えて様子を見ることも大切です。特に子どもにとってよい睡眠は何より大切であり、睡眠不足が発達障害もどきを引き起こす場合もあるそうです。以前早寝早起き朝ごはんの重要性を議会でも取り上げましたが、子どもにとって特に睡眠の重要性をもっと啓発すべきではないか見解を尋ねました。

③子どもの常設の居場所について

昨今孤独な子育てをしている保護者が増えていて、ネットの中の情報をすべてと家の中でうつうつと子育てをしていて煮詰まっている方も多いと伺います。本市では昨年子どもまんなかcity宣言をし、こどもまんなかアクションとしてこどもまんなかスペースを設置するとされています。私も以前から子どもの居場所の重要性を提案してきたので良いことだと思いますが、今

後具体的にどのような取り組みをするのか？また今回の居場所の中で常設の場所はあるか？

更に若松区の西部は子どもの数が大変多いわりに子どもの居場所が少なく、特に小さなお子さんを連れて一緒に集える場所がほとんどありません。新興住宅地であり昔からのコミュニティがない中孤独な子育てになりがちです。このような子どもの多い場所こそ小さなお子さんを連れてや多年代の子どもたちがいつでも行ける常設の子ども居場所が必要ではないか見解を尋ねました。

- ・夏休みの昼食事業については時間の関係で要望とさせていただきます。

◆ 市長質疑

- ・北九州空港の今後について
- ・JAL羽田便減便についての見解と2027年滑走路延長運用開始の国際線・成田便他国内新路線LCCの就航について

◆ 特別委員会

- ・鳥獣対策（青葉台のイタチ被害対策他）
- ・若松駅前スーパー撤退の跡地のJRへの働きかけについて
- ・若松ボート ボートレースパークについて
- ・中小企業の賃上げ支援について 他

